

徳川園の管理運営状況

1 基本情報

<所管局：緑政土木局>

指定管理者名	徳川の杜グループ		
主な業務内容	徳川園の管理運営業務		
施設の所在地	名古屋市東区徳川町1001		
評価対象期間	令和4年4月～令和5年3月	指定管理期間	令和4年4月～令和14年3月

2 評価結果

		評価項目	評価区分	特記事項
管理体制 及び協働	1 管理体制	職員配置	○	花壇ボランティアの新規募集や、高齢化・固定化しているガイドボランティア活動の活性化を図るため、英語サークルの大学生向けにガイド育成勉強会を開催するなど、新たな協働に向け準備を進めた。
		緊急時の体制	○	
		人材育成等	○	
	2 協働	市民等との協働	◎	
維持・管 理運営等	1 維持管理	園内清掃	○	ろ過室ポンプの分解整備（1基）、圧力計・点滴機等交換等の機械整備の実施や、スイレン、蓮の枯葉取りなどこまめな清掃の継続などにより龍仙湖の水質の改善をした。 藤については、樹木医の講習の受講、白鳥庭園との合同勉強会により、生育地改善、職員の剪定技術の向上を図り、花付きも良好であった。 花菖蒲は、他園との情報交換で希少種を確保し、バックヤードでは既存品種の余剰苗を常に育成するなど品種・株数の拡大に努めた。牡丹も品種拡大に努め、事務所などで開花調整も行い、来園者に長く楽しんでもらえるよう工夫した。
		建物・設備の管理	○	
		保守・点検・修繕	◎	
		植物管理	◎	
		管理水準の維持	○	
		関係書類の調製・保管	○	
	2 運営管理	利用者アンケートの実施	○	利用者からの要望に応え、催事の際に庭園内で甘味を販売し好評であった。意見箱を設置し、寄せられた意見については速やかに対応し、改善に繋げた。
		利用者ニーズの把握と反映	◎	
		利用者サービス向上策	○	
		接客・接客向上の取組み	○	
		苦情・要望に対する適切な処理	○	
		個人情報の適切な管理	○	
	3 この施設特有の管理	庭園の管理	◎	花菖蒲の種類・株数を拡大し、希少種の保存にも努めた。 各イベントの中で新規催事（徳川園の夜会など）を開催した。 新たにビュースポット、撮影スポットを創設したり、夏季には、うちわ貸出やミスト設置、蚊やり豚での線香設置、春季にはひな人形の装飾物の展示等、季節感の演出を工夫して利用者の満足度を向上させる取り組みを実施した。
		めざす公園像への取組み	○	
		美術館・蓬左文庫との連携	○	
	4 魅力増進・利用促進	魅力の増進策	◎	
		イベント等の実施	◎	
		利用者への広報・情報提供の実施	○	
		利用者数の増加	○	
	5 収納金の処理業務	現金等の取扱い	△	徴収額に過納金、不足金の発生が見られ、また、不足金の発生に気づくのが遅れることがあったが、いずれについても、指導後、是正された。
		関係書類の調製・保管	○	
自主事業	1 自主事業	事業計画に基づく自主事業の実施	○	
		集客対策への効果	○	
		自主事業の収支及び還元	○	
収支	1 収支	経費節減策	○	
		年間収支	○	
その他	1 その他	法令・協定の遵守	○	
		事業計画との比較分析	○	

【総合評価】

龍仙湖において、スイレン、蓮の継続的な枯葉取りなど清掃を頻度高く実施し水質を改善した。また、徳川園の「顔」である牡丹や花菖蒲についても、品種・株数を充実し見どころの向上に寄与した。
季節感をより引き出すような演出や新たな取り組み（熱中症対策を兼ねたうちわ貸出、ミスト設置や蚊やり豚での蚊対策、夜会の開催等。）を取り入れるなど、来園者を楽しませる工夫がなされた。
ただし、次年度以降、収納金の処理業務については、適正に処理するよう留意されたい。

施設の現状

徳川園

施設の現状	施設概要							
	名古屋城本丸の東約3kmの地にある徳川園は、徳川御三家筆頭である尾張藩第二代藩主光友が、元禄8年(1695)に自らの隠居所として大曾根屋敷を造営したことを起源としています。光友の没後、この地は尾張藩家老職の成瀬、石河、渡邊三家に譲られましたが、明治22年(1889)からは尾張徳川家の邸宅となりました。昭和6年(1931)名古屋市は、第十九代当主義親から邸宅と庭園の寄付を受けた後、改修整備を行い、翌年「徳川園」として一般公開しましたが、第二次世界大戦の大空襲によってほとんどの建物や樹林などが焼失してしまいました。 戦後、現代的な都市公園として改修し、市民に利用されてきた徳川園は、平成13年(2001)から日本庭園として再整備を行い、平成16年(2004)に開園しました。 徳川園は、矢田川の河岸段丘を生かした高低差のある地形、既存の照葉樹の森、立体的に迫る大きな岩組みが特徴で、変化に富んだ景観を劇的に展開する構成としています。 なお、平成26年10月7日に「徳川園黒門」「徳川園脇長屋」「徳川園堀」「徳川園釣瓶井戸」「蘇山荘」「蓬左文庫旧書庫(教育委員会所管)」が、国の登録有形文化財に登録されました。							
	市の収支状況(千円)（4年度決算見込み額）							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	122,899	-	122,899	54,187	0	68,712	122,899	—
	特記事項							
	平成22年度から指定管理者制度を導入							
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	入園者数		人	330,850	147,740	188,133	234,535	
	利用者1人あたり運営費		円	385	862	677	524	
	特記事項							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載